

やすらぎの村便り

認知症の介護はどのくらい続く？

アルツハイマー病など大半の認知症は、進行を遅らせることはできても、完全に治すことは難しいのが現状です。どんなに一生懸命介護しても、認知症の人から「ありがとう」「助かったよ」といった感謝の言葉が返ってくることは稀です。認知症の人は、世話になったことをすぐに忘れてしまうからです。そういうことを理解してはいても、介護者は長期間続くとやはり疲れてしまいます。「二体いつまで続くのだろう」と考え、てしまうのは、仕方のないことです。

とある認知症に関する調査データでは、認知症の介護年数は平均で6〜7年となっています。10年以上という人も6人に1人弱です。から、介護する側は、初めから長期戦になることを想定して準備を進める必要があります。一方、介護する家族や周囲の人を孤立させないよう、ということも大切です。

介護の負担を一人で背負い込まない

いように、関係者で少しずつ分担しましょう。グチを聞いてくれたり、認知症の人に代わってねぎらってくれたりする友人を確保しましょう。また、デイサービスなどを上手に使って息抜きの時間を作り、介護者が自らリフレッシュすることも大切です。

全国各地の認知症介護を経験した人たちが作る「認知症の人と家族の会」では、電話相談に応じたり、集まりを開催したりしています。他にも最近では「認知症カフェ」など、介護家族が交流する場も増えています。困ったときは、積極的に活用（参加）してみる事も良いかと思えます。

そして、「どうしても自宅で見るのは難しい」と思ったら、施設への入居も選択肢のひとつです。どうぞいつでもお気軽に当店のケアマネージャーまでご相談くださいませ。

やすらぎの村 居宅介護支援

河内長野営業所長 宮崎信也

入居者募集中心!



大阪狭山市にグループホームが グランドオープンしました!

グループホームとは?

認知症の進行により自宅での生活が困難になった方が、介護保険を利用して入居できる共同住宅の事です。入居者は職員による援助を受けながら、5〜9人で共同生活を営みます。

お問い合わせ

「ラ・フォート狭山池」

TEL072(360)0088

大阪狭山市池尻中二丁目960-2 (担当/イケガミまで)

キタバ薬局グループ 富田林市向陽台 2-2-15

☎0721(28)6261(代)